



ほっとサロン建設工事状況（第1・2棟間の中庭 2014.3.12）

No.109 2014・4・25

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY
発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



ISHIKAWA PREFECTURAL
MUSEUM OF HISTORY

れきはく

石川県立歴史博物館 リニューアルオープン プレ企画展

大名行列がやってきた！

ー加賀藩の歴史と美術ー

昨年度に引き続き、リニューアルオープンに向けたプレ企画展を、県内の博物館施設で開催します。「大名行列がやってきた！ー加賀藩の歴史と美術ー」では、歴博が所蔵する加賀藩関連の優品と、開催地である羽咋および能登に関連した絵画資料をあわせてご覧いただけます。

平成26年 **4月26日(土)～5月25日(日)** ※会期中無休

会 場 羽咋市歴史民俗資料館 2階展示室
(羽咋市鶴多町鶴多田38-1)

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

主 催 石川県立歴史博物館・羽咋市歴史民俗資料館

入 館 料 無料



紫紺糸威二枚胴具足 雲海光尚作 長尚連所用
江戸時代(17世紀) 石川県指定文化財

特集展示 郷土の絵師 雲山と観了

羽咋市出身で能登の南が画家の嘯矢となった山崎雲山と、志賀町赤住の出身で「能登の大雅堂」と呼ばれた池野観了。能登で生まれ、京都などで絵を習得した2人は、故郷に戻って多数の作品をのこし、石川の絵画史に大きな影響を与えました。



山水図(部分) 山崎雲山筆 天保6(1835)年
羽咋市歴史民俗資料館所蔵

本展では特集展示として、これまで注目されることの少なかった2人の絵師をとりあげ、羽咋市歴史民俗資料館の所蔵品とあわせて、その画業を紹介します。

関連イベント

講演会 「妙成寺ゆかりの加賀藩の女性たち」

講師：横山方子氏(石川郷土史学会幹事)
日時：4月26日(土) 14:00～15:30
会場：羽咋市歴史民俗資料館 1階研修室
※聴講無料・事前申込不要

れきはく学芸員によるギャラリートーク

日時：5月10日(土) 14:00～15:00
会場：羽咋市歴史民俗資料館 2階展示室
※参加無料・事前申込不要

週末ワークショップ

①へんしんコーナー 甲冑やお姫さま衣装の体験
②からくりコーナー 江戸時代のからくり人形について実演とレクチャー
日時：会期中の土曜日・日曜日・祝日 10:00～15:00
会場：羽咋市歴史民俗資料館 2階ホール
※参加無料・事前申込不要

特別公開

本州最後のトキ「能里」 5月10日(土)～18日(日)
能登に生息した本州最後のトキ「能里」のはく製を特別公開

歴博リニューアル 平成25年度の歩み

当館はリニューアル工事真っ只中で、毎日急ピッチで工事が進められています。
休館に入り一年以上がたちましたが、これまでの工事の様子や休館中の当館の活動を振り返ります。



4月

夏に行う資料移転作業に備えて、まずは収蔵庫の資料整理から始めました。



5月

学芸、普及、資料収蔵の3つワーキング会議を開いて、リニューアルの原案作りを行っています。

年3回開催している歴史遺産セミナー。昨年度は加賀郡勝永、一向一揆、兼六園をテーマに開催しました。



6月

ブレ企画展「大名行列がやってきた！—優品に見る加賀藩—」を小松市立博物館にて開催しました。



7月



8月

七尾の臨時収蔵庫へ資料を搬入しました。広い収蔵庫があつという間に資料で埋め尽くされました。



9月

工事着工前に当館職員や、展示業者、工事関係者による定例工事打ち合わせ会議を行っています。

第2弾ブレ企画展を石川県七尾美術館で開催しました。開催地にちなんで能登に関連する資料も展示しました。



10月

足場が組まれ、外壁の修復や内装の解体など博物館のあちこちで工事が始まりました。工事が安全に進みますように。



11月



12月

石川近代文学館にて「モダン金沢と映画文化」と題し大正～昭和初期の金沢の大衆文化を伝えるブレ企画展を開催しました。



1月

昨年度の当館主催の講座や講演会は県立美術館の講義室をお借りして開講しました。

NTT側の通路脇にある門柱の修復工事を行いました。傾きを直して綺麗になりました。こちらも建物と同じく重要文化財です。



2月

新設される「ほっとサロン」の基礎が完成し柱が建ちました。こちらのスペースはお客様の憩いの場として活用いただく予定です。



3月

「加賀百万石～金沢に花開いた もう一つの武家文化～」展 in パリ

出品リスト

1	前田家陣幕
2	紅糸威仁王胴具足
3	投頭巾形変わり兜
4	浅葱緋地田家文様染織単衣
5	白麻地小梅文様染織帷子
6	預玄院細工物
7	梅園院細工押し花 2点
8	内持仏（前田土佐守家伝来） 2点
9	浄珠院持仏 地藏尊
10	花鳥図 前田齊広筆
11	大坂の陣図屏風
12	六玉川歌意図屏風
13	宝生太夫勸進能絵巻

フランス・パリの日本文化会館で、江戸時代からの伝統を継承する金沢の文化を紹介する「加賀百万石～金沢に花開いたもう一つの武家文化～」展が開催され、当館からも十三件（十五点）の資料が貸与・展示されました。この展覧会は、平成二十五年十月二日から十二月十四日まで十一週間にわたり、国際交流基金・パリ日本文化会館が主催、金沢市が共催、石川県が後援して、開催されたものです。

会期中の入場者は九、二一八人で、ここ数年の展覧会入場者を大きく上回り、反響は大きかったとのこと。当館から出品された資料のうち、紅糸威仁王胴具足はポスターやちらし、図録の表紙、懸垂幕など、広報の主力として扱われ、その偉容とともにパリの人々の関心を引き付けたようです。

（資料課長 濱岡伸也）



紅糸威仁王胴具足



投頭巾形変わり兜（右）



エッフェル塔と日本文化会館（右端）



前田家陣幕を背景に



仁王胴具足と六玉川屏風



図録表紙

行事日程（6～7月）

月日	行事	内容
6/20（金）	れきはくゼミナール	未定
7/18（金）	れきはくゼミナール	当館ホームページで最新情報をご案内いたします。 今後発行されるれきはくメイト向け「メイト情報」でもお知らせいたします。
8/15（金）	れきはくゼミナール	

◎開講時間…午後二時～（約一時間三十分）

◎会場…石川県立美術館 講義室

◎受講料及び申し込み…いずれも不要

※休館中のため、本多の森公園内の石川県立美術館が会場となります。

※駐車場スペースには限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

※美術館講義室の開場は午後一時三十分です。

資料紹介

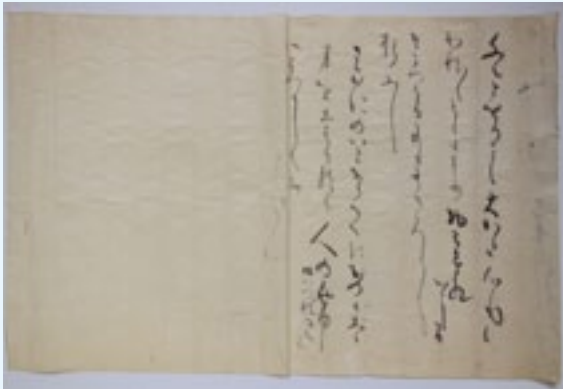
前田利常書状の「裏」も
読んでみよう！

写真を見て、「じえ、じえ、じえ」と叫んだ方もいるのではありませんか？

文之とをり被申候大かた心得候「われわれとしもより物わすれ」いたし候間「そこつなる事もきまいらせ候」折ふし

ささかにのいとならなくにおのがじし身をしばるる人の世の中

口はづれにて候「御はづかしく候」かしく



釈文をみてもピンとこないですよ。そこで、自分が利常さんになりかわってお話ししましょう。

「お手紙の内容はわかりました（笑）。人間年をとると物忘れをするようになり、失敗もするようになると聞いています。ふと、こんな和歌が浮かんできました。お恥かしい限りですが…」こんな感じでしょうか。

写真の右端の裏側に、「上木 ちくぜんより」とあります。利常が筑前守になるのは一六〇五（慶長一〇）年で十三歳。上木は、利常付となっていた上木庸長（おじさん）でしょう。庸長は一六一五（元和元）年に亡くなるので、この手紙は利常が二十歳前後のものではないかとみられます。人柄が感じられる書状ですね。

さらに、利常の和歌。細蟹の糸なら振り払うことができるのに、自分の身の回りは色んなしがらみで思い通りにはなりません。細蟹は、蜘蛛のことです。『古今和歌集』にも蜘蛛を細蟹と表現する和歌が出てきます。利常は、連歌が上手だった北野天満宮の能順を小松へ招いたことや、茶人小堀遠州との交流など、文化人としても知られており、即興としながらも、年長者を思いやってこんな和歌が詠めるというのは、さすがだと思います。

そして、蜘蛛と蟹。確かに、お互い足は八本あるけど…。動物学でも、節足動物門で大きくは同じ仲間とされます。タラバガニとセアカゴケグモが同じ仲間とは…自分には理解できません。同じと見なした古の人たちはすごい！

（資料課長 濱岡伸也）

赤レンガ建物3棟

（県立歴史博物館・藩老本多蔵品館）

の愛称を募集中!!

石川県立歴史博物館と藩老本多蔵品館では、平成27年春のリニューアルオープンを機に、より多くの皆様から親しまれる施設となるよう、両博物館が入居する国指定重要文化財の赤レンガ建物3棟を総称した愛称を募集しています。

石川県の豊かな文化や歴史を発信する「兼六園周辺文化の森」にふさわしく親しみやすい愛称をご応募下さい。

<応募期間>平成26年4月28日(月)～6月10日(火)

<応募方法>応募用はがき、官製はがき、ファックス、電子メールによりご応募下さい。電話での応募はできません。詳しくは当館ホームページをご覧ください。募集案内書がダウンロードできます。

<問合わせ先>

赤レンガ建物愛称募集係（石川県立歴史博物館内）

電話 076-262-3236

FAX 076-262-1836

e-mail rekihaku@pref.ishikawa.lg.jp

URL <http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/index.htm>



人事異動（四月八日付）

新任
退職（任期満了）

館長 藤井譲治
館長 脇田晴子

本多の森から

脇田晴子前館長は、この三月に任期満了を迎え、退任いたしました。七年間の長きにわたり、博物館運営に尽力していただきました。また今年度からは日本近世史を専門とする藤井譲治館長が就任します。新館長のもと、リニューアルオープンに向け、職員一同全力で取り組んでいきたいと思っております。今年度もよろしくお願いたします。